

小鹿なでしこ苑 施設理念

「あなたがあなたらしく 私が私らしく」

大正生まれが100歳を超え、昭和生まれが80歳を超える現在、この年代が生きてきた背景を振り返る必要がある。

第二次世界大戦 青春の真っ只中において、**高度経済成長期**ではその発展を支えた世代。

この二つの時代は真逆の思想を有していた。

戦時中は、個人の欲求を抑えて国家天皇に命を捧げて本望。違う思想を口にすれば非国民とされた時代である。しかし、敗戦後高度経済成長を遂げた日本は国民に中流意識が高まると共に、個人の欲求が尊重されるようになってきた。国民生活は飛躍的に充実し、家族の間でもプライバシーが尊重され「個」に対する考え方に大きな変化がみられるようになった。

それは個性を重んじた「**その人らしさ**」を追求する結果となっていた。

小鹿なでしこ苑入居利用者は、このような時代に生きてきた方達であること。そして、入居者一人ひとりの自分らしく生きる姿を尊重する意味を込めて、施設理念を「**あなたがあなたらしく 私が私らしく**」という文言に決定した。

年齢を重ね要介護状態となっても、自分(個)をどのように表現するかは、人生最終の課題である。そして、その課題を達成するために私たちが提供する援助が存在する。それは、**自律した生活**そのものへの援助であると考えている。

そのような援助を提供するために、我々介護施設の職員は、住み慣れた家を離れ、施設での生活を**選択せざるを得なかった**入居者、家族の心情を思いやる必要がある。

それは、その人の人生に**共感することから始まる**。